

ウォーキング大会

3月10日「第4回健康さつまウォーキング大会」が開催され48名が参加しました。これは、生涯スポーツの一環として、町民課が健康増進を図る目的で毎年開催しているものです。

晴天に恵まれた当日は、最初にスポーツインストラクター2名が「ウォーキングの注意点・効果的な時間帯」等を指導し、みんなでリズム体操を取り入れた準備運動をおこないました。

その後、出発した参加者たちは一周約6キロの道のりを思い思いのスピードで歩き、また途中、中島哲哉さんからイチゴの差し入れも受け、春の香りを十分感じ取ったようでした。

川内市から参加したという岩崎保さんは「講師の方に歩き方を教えてもらったのがとてもよかった。次回も是非参加させてください。」と感想を話していました。



▲春を満喫しながら歩く参加者たち

「ぼくらの字」いつまでも!

3月18日、永野小学校六年生が手書きした橋名板が、永野小学校門の下に架かる橋のたもとに取り付けられました。

この橋は、永野川の火山砂防事業の一環として、架け替えが進んでいたもので長さが5メートル80センチ、幅が6メートル20センチの「谷川橋」です。

橋名板は青銅鑄物製で縦が20センチ、横が30センチ、厚さが1.3センチで4枚あり、緑地に金色の字で漢字・ひらがなで、河川名・完成日が記載されています。

「谷川橋」をデザインした高橋駿仁君は「谷の字が難しかったけど、全体的にはうまく書けた。(自分の書いた文字が)ずっと残ると思うとうれしい。」と感想を話していました。

おじいちゃん、おばあちゃん 昔の遊び教えて

2月6日、中津川小学校で高齢者と児童のふれあい活動が開催されました。

これは、昔から親しまれてきた遊びを高齢者と一緒に学び交流を深めようと、企画したものです。

当日は高齢者80名が参加。初めに、三年生の橋口裕也君が「今日は昔の遊びを教えてください。僕たちもメンコやあやとりの練習をしてきました。教えてもらいながら勝負したいです。」とあいさつ。その後分かれて、屋外ではコマやメンコ、竹細工の作り方など、また屋内では児童手作りの福笑いやすごろく、あやとりやおはじきなど懐かしい遊びを一緒におこなって楽しみました。

児童は慣れない遊びにとまどっていましたが、高齢者の方の指導もあってメキメキ上達。だんだんうまくできるようになりました。



折り紙の指導を受ける児童

その後、児童が育てたそばを使って作ったかけそばとおにぎりをみんなで食べて、楽しいひとときを過ごしました。

から、できるだけその人の力でやらせてあげて、出来ないときは温かく手を差し伸べてあげたいです。みなさんも、もし体の不自由な人を見かけたり、身近にそんな人達がいたら、見ていてだけではなく、まず声を掛けてください。手助けが必要なら、手伝ってあげてください。少しでも喜んでくれたら、きっと自分もうれしいと思います。僕も、祖母にやってあげられることがあれば、自分から進んで聞けるようになります。

「がんばれおばあちゃん、負けるなおばあちゃん」



▲新しい橋と一緒に記念撮影